



## たじみ監督署 安全衛生だより

## 平成23年の労働災害発生状況

## ～ 製造業の労働災害が急増中 ～

平成23年10月末における全産業における休業4日以上の労働災害発生状況は196件で、前年に比べ31件の減少となっています。

主な業種別にみると、製造業73件、建設業16件、運送業25件、卸小売業16件発生しています。製造業は昨年より大幅に減少していましたが、ここに来て増加傾向にあり注意が必要になっています。

製造業の中でも特に金属・機械器具製造業について10月には、手袋（軍手）をしたままフライス盤を扱っていたため手袋が巻き込まれたために起こった災害、コンベヤの点検中に合図のミスで同僚が稼働させてしまい、巻き込まれた災害など安全意識の低下が根本にある災害が目立ちました。

このことから、安全意識の高揚を図るための安全衛生教育の充実やリスクアセスメントをはじめとする自主的な安全衛生活動を推進し、災害防止を図ることが非常に重要となっています。

	平成23年	平成22年	対前年 増減数	対前年 増減率	構成比	(参考) 平成21年
全産業	196 (1)	227 (6)	-31	-13.7%	100%	184 (3)
製造業	73 (1)	76 (2)	-3	-3.9%	37.2%	68 (1)
うちパルプ・紙等	2	7 (1)	-5	-71.4%	1.0%	6
うち窯業土石	23 (1)	29	-6	-20.7%	11.7%	28 (1)
うち機械金属	26	16 (1)	10	62.5%	13.3%	17
建設業	16	33 (3)	-17	-51.5%	8.2%	19
運輸業	25	15	10	66.7%	12.8%	21 (1)
卸・小売業	16	23	-7	-30.4%	8.2%	24
通信業	9	12 (1)	-3	-25.0%	4.6%	3
ゴルフ場	16	24	-8	-33.3%	8.2%	22 (1)
上記以外	41	44	-3	-6.8%	20.9%	27

本統計は、平成23年10末日までに労働者死傷病報告により報告のあった休業4日以上の死傷災害を集計したもので、カッコ内の数は死亡災害を内数で示したものです。

構成比は小数第2位を四捨五入しているため、各業種の合計が100%にならない場合があります。